

# 慶南青年カレッジ2009

## －日韓交流プロジェクト－

代表者 持永宣孝（経済B2年）  
構成員 藤井浩子（人文B2年） 普家麻美（人文B2年） 澤山文香（経済B2年）  
黒田香織（人文B2年） 棚田明日香（教育B2年）  
常松咲良（工学B2年） 福田将輝（工学B2年）

### 1. プロジェクトの目的

私たち、慶南青年カレッジ2009は昨年3月に結成し、日韓交流プロジェクトの成功を最大の目標として、活動してきました。学生たち自身が企画するプロジェクトの中で様々な体験を通して、両国の違いを知り、相互理解を促進することを目指しています。

### 2. プロジェクトの概要

両国の学生が交流する機会の名称を「アジアカレッジ」としています。8月に日本で行うものを「夏アジ」、10月に韓国で行うものを「秋アジ」とし、各々の企画と運営を自国に迎える側の学生を中心に連絡を取り合いながら、進めていきます。尚、今年度は新型インフルエンザが蔓延したために、「秋アジ」を2月に延期し、「冬アジ」としました。これに伴い、当初2月に日本で予定していた、過去のOB・OGを集い、実施する「OB会」はやむを得ず中止という形になりました。

### 3. プロジェクトの行程と詳細

<2月～3月>

日本側運営スタッフと代表者の決定。

おもしろプロジェクトへの申請。

<4月～6月>

訪韓プレゼンの準備と実施。

両国の参加者、韓国側運営スタッフと代表者の決定。

「夏アジ」の計画。

<7月>

両国の運営スタッフの顔合わせ。

くじら祭り参加。

<8月>

「夏アジ」の準備と実施。

<9月～10月>

「秋アジ」の準備と参加者の決定、延期の決定。

<11月～1月>

来年度日本側運営スタッフの勧誘。

「冬アジ」の準備。

<2月>

「冬アジ」の実施。来年度日本側運営スタッフと代表者の決定。

#### ・訪韓プレゼン

4月28日、私たちは日本を出発し、韓国の大学生を前にした私たちのプレゼンテーションは全部で4回実施し、訪問した大学は蔚山大学、昌原大学、仁済大学の3つです。5月2日には釜山韓日交流協会に集まったその他の大学の韓国人学生数名にプレゼンテーションを行いました。この準備では、韓国人留学生の力を借りて、資料を作成して、またハングルを教えてもらい、留学生との交流もできました。プレゼンテーションは韓国側

の慶南青年カレッジ参加者のOBにサポートしてもらい、韓国の学生に慶南青年カレッジ2009のプロジェクトに興味を持ってもらえました。また、大学訪問の後には、食事会を開くなどして、さまざまな形で韓国学生との交流、同プロジェクトのPR活動を行いました。



釜山韓日交流協会にて

・クジラ祭りへの参加

韓国側リーダーとの顔合わせのために、韓国側の参加者3人と昨年参加したOBを山口に迎えました。8月の同プログラム中にも訪問する山口県長門市で行われたクジラ祭りに参加して、和船競争やクジラ漁の模擬体験を行いました。クジラ祭り参加によって、長門市の地元の方々と交流を深めることもできました。また、事前にいくつかの交流をすることで、連絡を密にとるようになり、プログラムの進行を円滑に進めることにつながりました。



クジラ祭り前日、地元の方々との交流

・「夏アジ」の実施

8月18日、慶南青年カレッジ2009はスタートして、韓国人大学生と交流しました。初日、韓国の大学生に日本の食文化を体験してもらうために、もちつきとそばうちの体験を行いました。参加者の半数が初対面の外国人ということもあって、どことなく互いに緊張している姿も見られましたが、この体験を通してうちとけることができました。



もちつき・そばうち後の夕食

2日目には広島を訪れました。広島では、宮島を観光し、翌日には平和学習を行いました。平和学習では、原爆資料館にて千羽鶴の奉納や被爆者の体験談の公聴会などを行いました。

21日～23日には、韓国人学生は一般宅ホームステイを行いました。23日には、日韓の環境問題についての講座を開きました。ここでは、韓国の大学教授等も招き、両国の特に山口県や慶尚南道における取り組みの実情を知り、環境問題に関して考える良い機会になりました。24日からは地引網体験と海岸清掃、テンプルステイ、秋芳洞見学などを行いました。24日には7月にも訪問した長門市で地引網や海岸清掃を行い、夜にはBBQをして、交流しました。テンプルステイの日には、萩市庁表敬訪問を行い、萩焼の絵付けを体験や萩市内の観光を通して日本の歴史文化に触れました。



秋芳洞見学

27日夜、下関港で韓国側参加者の出国を見送るまで、全部で10日間にわたる交流では、プログラムの運営は滞りなく進めることができ、参加者全員に楽しんでもらうことができたと思います。また、平和学習では、ディスカッションを通して歴史に対して真剣に向き合う等、互いの認識の違い等を考え直す機会も持つことができました。日韓の学生間での交流も深まり、互いの国に対してさらに興味を持つきっかけとなりました。

#### ・「冬アジ」の実施

「冬アジ」は2月21日～25日の5日間で実施しました。20日夜に下関港から出国し、21日朝に韓国側参加

者と再会しました。初日には、昌原市での博物館や韓国の伝統的な建築の見学、プラネタリウム・天文台見学を行いました。22日には韓国の民族舞踊、民謡の舞台の視聴と民謡体験を行い、23日には世界遺産である仏国寺を訪問する等、「冬アジ」では韓国の歴史や文化に触れる体験を通して、「夏アジ」同様に交流を深めました。



博物館見学の様子



韓国の民族舞踊

24日、韓国人学生宅に宿泊して、各宿泊先の学生や家族と交流しました。最終日の翌日には釜山の韓日交流協会の学生を前に、プロジェクトのプレゼンを行いました。釜山を観光した後に、同日夜に韓国側の学生との別れを惜しみながら、韓国を出発して、26日に帰国しました。

#### 4. 謝辞

今回、私たちがこのような有意義な活動ができましたのは、おもしろプロジェクトによる支援のおかげです。今後は、慶南青年カレッジ2010として新たな運営スタッフに引き継ぎ、従来と同様に日韓交流をより一層深められるように、活動を継続していきたいと思っています。私たちの活動に関わって下さった全ての方々に深くお礼申し上げます。